

日本中東学会ニューズレター

JAMES

NEWSLETTER

No. 123

2011/2/5

## 目次

会員会費特例規程が 4 月 1 日から施行されます .....	2
第 27 回年次大会にむけて .....	3
理事会報告 .....	10
『日本中東学会年報 AJAMES』編集委員会報告 .....	12
第 14 期役員選挙が進行中です .....	13
日本中東学会奨励賞の候補作推薦について .....	13
寄贈図書 .....	14
会員の異動 .....	15
連絡先をご存じないですか .....	17
訂正とお詫び .....	18
事務局より .....	18
編集後記 .....	19

## 会員会費特例規程が4月1日から施行されます

会費について、本学会細則には、会費について規定されており、第2項. 会費の特例の適用に関する日本中東学会会員会費特例規程が、中央大学における2010年度総会において、以下の内容のとおり制定されました。施行は、2011年4月1日からで、2012年度分会費から、本規程は適用されます。

### II. 会費について

#### 1. 会費

正会員は年額10,000円、学生会員は年額5,000円を納入するものとする。  
また、賛助会員は1口50,000円(原則2口以上)を納入するものとする。

#### 2. 会費の特例

会員の経済状況その他に鑑みて、理事会が認める者については、会費の特例を適用するものとする。特例の適用については別途規程を定める。

### 日本中東学会会員会費特例規程

平成22年5月8日制定

I. (総則)本規程は、学会細則II-2に規定される会費の特例について定める。

II. (対象となる会員)理事会は以下の条件に当てはまる会員について、会費特例の適用対象とすることができる。

1. (非常勤職特例)大学院の修士もしくは博士に相当する課程を修了もしくは満期退学した後、研究を継続しながらも、常勤の職を有さない者。ここに言う「常勤の職」には年限付きの教員・研究員等を含める。

III. (特例会費額)

1. (非常勤職特例)正会員として扱うが、会費5,000円を適用する。

IV. (手続き)

1. 会費の特例適用を希望する会員は、事務局を通して学会に申し出なくてはならない。
2. 理事会は可及的速やかに特例の適用について審議し、その結果を会員に通知しなくてはならない。
3. 理事会が必要と認める場合は、特例適用の理由となる事実を証明する文書の提出を会員に求めることができる。

V. (改廃)本規程の改廃は理事会の発議により、総会の議決を必要とする。

VI. (発効)本規程は平成23年4月1日をもって施行する。

### 会費特例の適用の手続き

会費特例の適用を希望する正会員は、日本中東学会宛に、特例の適用を申請する文書を、郵送、あるいは、メール添付で、学会事務局宛に、お送りください。

特に様式は定まっておりますが、A4用紙、1枚以内で、大学院の修士もしくは博士に相当する課程を修了もしくは満期退学した後、研究を継続しながらも、常勤の職を有さないことを具体的にお書きください。文中には、修了・満期退学年度、修了・満期退学の大学院名、現職の状況（あるいは無職の状況）などを含めてください。最初の申請段階では、上記に関する証明書の類は、不要です。また、申請年月日、会員氏名、連絡先住所・電話番号、電子メールアドレスも、明記ください。適用申請があった場合、理事会では出来るだけ速やかに審議し、適用の可否について、お知らせします。なお、審議の過程で、理事会が必要と認める場合は、特例適用の理由となる事実を証明する文書などの提出を会員に求めることがありますので、この点は、ご了承ください。

(店田廣文)

## 第 27 回年次大会にむけて

～参加申し込み方法・暫定プログラムほか～

### 1. 参加および懇親会申し込みについて

日本中東学会第 27 回年次大会への参加申し込みは、参加費の振込によって行うことができます。『ニューズレター』本号に、大会への出欠通知、懇親会・弁当（昼食）の申し込みを兼ねた郵便振替用紙が同封されています。大会に参加される方は、この振替用紙をご利用の上、下記の口座に、2011年4月15日（金）までに参加費をお支払いください（研究発表に応募された方の参加費納入期限は、後述のとおり、これより早く2月28日（月）です）。

また、懇親会費、2日目（5月22日）の弁当代などの納入も同封の振替用紙をご利用ください。なお、弁当の当日申し込みはお受けできません。諸費用は原則として前納でお願い申し上げます。

参加費は1,000円、懇親会費は5,000円（学生会員は4,000円）、2日目弁当代は1,000円です。なお、事前にお振込みいただいた諸費用は返却に応じかねますので、ご注意ください。

振込先（郵便振替口座）

口座番号 00970-2-146514

口座名称 日本中東学会第 27 回年次大会実行委員会

（ニューズレター同封の振替用紙をご利用ください。）

### 2. 託児所の設置について

託児所利用の希望は、引き続き受け付けております。大会当日に託児所の利用を希望される方がございましたら、準備の都合上、早めにご連絡ください。最終的な締め切りは2011年4月15日（金）の予定です。

託児所の費用については、託児所会計の前年度からの繰越金を充当する予定ですが、利用者の方に利用時間に応じて多少のご負担をお願いいたします。

### 3. 研究発表について

2日目（5月22日）の研究発表につきましては、個人発表56件、パネル発表1件の応募がありました。多数のご応募をいただき、誠にありがとうございます。実行委員会では大会の暫定プログラムを作りました。ただし、今後発表予定者の都合などによる変更の可能性があります。よろしくご了解ください。

最終的なプログラム、会場への交通案内、総会議決の委任状などは4月上旬にお手元にお届けする予定です。なお、年次大会の開催時期は、京都の初夏の観光シーズンと重なるため直前の宿の予約は大変難しくなります。とりわけ発表予定の方におかれましては、十分余裕を持って宿泊予約されることを強くお勧め致します。

### 4. 日本中東学会第27回年次大会暫定プログラム

開催日時：2011年5月21日（土）・22日（日）

開催場所：京都大学・吉田南キャンパス

<第1日目・2011年5月21日（土）>

13:30～17:00 公開イベント

第1部：朗読劇「The Message from Gaza～ガザ、希望のメッセージ～」(上演時間90分)

脚本・演出：岡 真理、出演：学生・市民有志

内容：ガザから外の世界に向けて発せられた手紙という形で書かれた3つのテキスト（ガッサーン・カナファーニー原作の短編「ガザからの手紙」（1956）、レイチェル・コリーのメール（2003）、サイド・アブデルワーヘド教授の「ガザ通信」（2009）等をコラージュしたもの。

第2部：シンポジウム「抵抗の文学～世界文学の中のパレスチナ～」

パネリスト：鵜飼 哲（一橋大学、フランス文学）、太田昌国（編集者、民族問題）、岡 真理（京都大学、現代アラブ文学）、細見和之（大阪府立大学、詩人・ドイツ思想）

司会：山本 薫（東京外国語大学）

17:30～18:30 日本中東学会総会

18:45～20:45 懇親会

<第2日目・2011年5月22日(日)>

研究発表

◆企画セッション (13:00～14:30、セッション・タイトルのみ掲載)

(1) “Middle East and East Asia in a Global Context (tentative)”

(2) “Middle Eastern History & Culture: East Asian Perspectives (tentative)”

(3) “Can Present Iranian Regime Survive? - An Approach to the Challenges for the Islamic Republic of Iran”

◆個人発表 (Jは大学院生)

第1部会

9:00～9:40 森山央朗 (日本国際問題研究所)

「ホラーサーン系「ハディースの徒」—その活動と影響」

9:40～10:20 松本隆志 (中央大学、J)

「ウマイヤ朝総督ヤズィード・ブン・アルムハッラブの叙述について—ウマイヤ朝史叙述における地方総督の一例として (仮)」

10:30～11:10 中野さやか (東京大学、J)

「アッバース朝宮廷のナディームとジャーリヤに関する考察」

11:10～11:50 小野仁美 (学習院女子大学)

「イスラーム法におけるイフティラーフ (法的見解の相違)」

15:00～15:40 角田紘美 (早稲田大学、J)

「『コルドバ歳時記』に見られるキリスト教典礼暦 (仮)」

15:40～16:20 辻明日香 (東京大学)

「14世紀後半のナイル・デルタに住むコプト：コプト聖人伝の記述を中心に (仮)」

16:20～17:00 茂木明石 (上智大学)

「聖者伝史料に収録された『シャーフィイー言行録』から見たイマーム・シャーフィイーの「聖者」イメージの変容 (仮)」

第2部会

9:00～9:40 中村満次郎 (自由業)

「ヘレニズム時代のユダヤ人」

9:40～10:20 佐藤寛和（岡山大学、J）

「パレスチナ難民問題とダレット計画の不可分性に関する論争—伝統的史観に挑戦する「新しい歴史家」の諸相」

10:30～11:10 田浪亜央江（成蹊大学）

「〈不在者〉であることはいかに学ばれるか—イスラエルの小学校アラビア語教科書における帰属意識の剥奪」

11:10～11:50 役重善洋（京都大学、J）

「矢内原忠雄の民族・国家観とシオニズム」

15:00～15:40 佐々木紳（東京大学）

「帝國的知識人としての新オスマン人」

15:40～16:20 山下真吾（東京大学、J）

「オスマン朝の歴史書に見られるオスマン朝の優越性の議論」

16:20～17:00 新井春美（拓殖大学、J）

「トルコの対外政策におけるアイデンティティの展開—1960年代の多元化を中心として（仮）」

### 第3部会

9:00～9:40 三代川寛子（上智大学）

「現代エジプトにおけるコプト正教会の政治的役割—宗派对立を事例として（仮）」

9:40～10:20 ダルウィッシュ・ホサム（東京外国語大学）

“The Changing Nature of the Ruling National Democratic Party and 2010 Parliamentary Elections in Egypt (tentative)”

10:30～11:10 近藤重人（慶應義塾大学、J）

「第一次石油危機時のアラブ諸国間外交—アラブの石油戦略形成に果たしたクウェートの役割、1973年～1974年（仮）」

11:10～11:50 堀抜功二（京都大学、J）

「アラブ首長国連邦におけるアブダビ・ドバイ優位体制と首長国間関係—連邦体制の再検討から」

15:00～15:40 吉川卓郎（立命館アジア太平洋大学）

“Jordan in International Relations: Security, Economy, and State Interests”

15:40～16:20 佐藤紀子（釜慶大学）

「イラク難民と移住先受け入れ集団との関係—シリア正教会教徒の事例」

16:20～17:00 白谷 望（上智大学、J）

「権威主義体制下モロッコにおけるイスラーム主義政党の政治活動—「公正開

発党」の戦略とジレンマ」

#### 第4部会

9:00～9:40 竹村和朗（東京大学、J）

「現代エジプト口語アラビア語の諺」

9:40～10:20 鷺見朗子（京都ノートルダム女子大学）、鷺見克典（名古屋工業大学）

「アラビア語習得とアラブ文化への興味—アラビア語専攻学生と非アラビア語専攻学生の比較検討」

10:30～11:10 竹田敏之（京都大学）

「現代アラビア語の展開とハット（アラビア書道）の隆盛」

11:10～11:50 鈴木珠里（大東文化大学）

「ヨーロッパ旅行記「異国にて」から見るフォルグ・ファッロフザードの詩的空間・詩的イメージの分析（仮）」

15:00～15:40 田熊友加里（日本女子大学、J）

「19世紀末ベルリンにおける中東産絨毯コレクションにみる中東観の形成—サイモン・コレクションを事例として（仮）」

15:40～16:20 園中曜子（京都大学、J）

「イスタンブルをめぐる視線—視覚文化としての絵葉書の誕生（仮）」

16:20～17:00 飛奈裕美（日本学術振興会特別研究員）

「19～20世紀初頭のパレスチナにおける写真の発展と社会変容（仮）」

#### 第5部会

9:00～9:40 渡邊祥子（東京大学、J）

「1950年代アルジェリアにおける政教分離問題とウラマー協会」

9:40～10:20 関佳奈子（上智大学、J）

「スペイン植民地時代のモロッコ・リーフ地方における独立戦争を再考する—指導者アブドゥルカリームの記述と言葉を手がかりに（仮）」

10:30～11:10 Kangsuk Kim (Hankuk University of Foreign Studies、J)

“Limited Impact of Cold War in the Middle East and the Failure of Eisenhower’s Containment Policy: U.S. Misperception of Nasserism under Israel Lobby and the Failure of the Baghdad Pact”

11:10～11:50 星 光孝（独立行政法人国際協力機構）

“Labor-export in the Arab Republic of Egypt: The Effect of Emigration Policy, Labor Policy and their Interrelatedness on Labor-export”

15:00～15:40 柄堀木綿子（京都大学、J）

「アブドゥルカーディルを巡るジハード観」

15:40～16:20 私市正年（上智大学）

「1940年代末のザーウィヤの青年たちとアルジェリア・ナショナリズムの思想・運動—新史料 Zawiya al-Hamil の『al-Shabab』紙の予備的考察」

16:20～17:00 石田友梨（京都大学、J）

「初期スーフィズムにおける霊魂論と修行論の関係性（仮）」

## 第6部会

9:00～9:40 上山 一（独立行政法人国際協力機構）

「GCC 諸国におけるイスラム銀行業の費用効率性（仮）」

9:40～10:20 川村 藍（京都大学、J）

「イスラム金融をめぐる法の二元性と民事紛争」

10:30～11:10 福永浩一（上智大学、J）

「初期エジプト・ムスリム同胞団における歴史認識の変容—ハサン・バンナー、サイド・クトゥブの著作に見られる歴史叙述の検証を中心に」

11:10～11:50 千葉悠志（京都大学、J）

「アラブ諸国における情報独立の動き：通信社・通信組織に着目して（仮）」

15:00～15:40 萩原 淳（京都大学、J）

「石油大国の逼迫するエネルギー事情—サウディアラビアを例として（仮）」

15:40～16:20 黒宮貴義（一橋大学、J）

「中東を中心とする資源輸出国に対するオランダ病モデルの適用に関する実証研究（仮）」

16:20～17:00 泉 淳（東京国際大学）

「米国ムスリムの政治志向と政治参加の実態」

## 第7部会

9:00～9:40 小島 宏（早稲田大学）

「シンガポールにおける家族形成行動のムスリム・非ムスリム間の差異」

9:40～10:20 野中 葉（慶應義塾大学、J）

「インドネシアの大学ダアワ運動におけるタルビヤの展開」

10:30～11:10 井上貴智（京都大学、J）

「現代イスラム世界における「科学のイスラム化」—マレーシアにおけるタウヒード科学教育の事例から（仮）」

11:10～11:50 松山洋平（東京外国語大学、J）



「イスマール・アル＝ファールキーの「知識のイスラーム化」論の射程とその展開」

15:00～15:40 Itamar Lee (香港国際問題研究所)

「韓国における中東およびイスラム研究—その歴史と特徴」

15:40～16:20 生田 篤 (九州大学、J)

『福岡マシド』における信仰行為と交流活動から見る、現代日本におけるイスラームを通じた共同性の意味」

16:20～17:00 平野淳一 (京都大学、J)

「イスラーム連帯の新局面—『イスラーム諸学派近接世界アカデミー』と『接近の使信』」

## 第8部会

9:00～9:40 黒田賢治 (京都大学、J)

「現代イランにおけるハウゼ教育と法学権威の再生産メカニズム—『諸問題の解説集』と修了課程の講義を手がかりに」

9:40～10:20 増野伊登 (慶應義塾大学、J)

「英国占領下イラクの反英抵抗運動と政治集会—1920年前後のバグダードに焦点を当てて (仮)」

10:30～11:10 村上 薫 (アジア経済研究所)

「トルコ型近代家族と性的名誉 (ナームス) 概念の変容 (仮)」

11:10～11:50 タシ・メメティ (中部大学、J)

「ホスト社会再考—トルコ共和国における政府とウイグル人移住民の関係から」

15:00～15:40 藤本透子 (国立民族学博物館)

「ポスト社会主義におけるイスラームの新たな展開—カザフの死者儀礼をめぐる」

15:40～16:20 子島 進 (東洋大学)

「信仰に根ざした NGO 活動—イスラーム圏の事例から」

16:20～17:00 後藤絵美 (日本学術振興会特別研究員)

「現代エジプトにおける芸能人女性の「悔悛」と夢—ヴェール着用を支えた出来事と思想について」

## 5. 研究発表予定者の方へ

発表予定者の方は、2月28日(月)までに、(1)大会参加費の振込と(2)発表要旨原稿の提出をお願いいたします。期日までにこの二つの条件が満たされ

ない場合は、発表をお断りすることがありますのでご注意ください。

なお、上記期日までに、学会への入会手続を完了し、2011年度までの会費を納入していることも、発表資格条件の一部として定められております。期日までにこの条件が満たされない場合は、発表をお断りすることがありますのでご注意ください。(海外在住などのために参加費の振込みに困難が生じる方は、別途ご相談ください。)

[発表要旨執筆要項]

1. 要旨は大会当日配布される要旨集に掲載します。
2. 分量は、日本語による発表の場合、和文 1,000 字以内、英語による発表の場合、英文 350 words 以内とします。
3. 日本語による発表の場合、英文タイトル・英文要旨 (350 words 以内) を、英語による発表の場合、和文タイトル・和文要旨 (1,000 字以内) もつけてください。
4. 和文、英文とも発表タイトル、氏名、所属 (大学院生の場合はその旨を必ず明記のこと)、要旨本文の順序で書いてください。ただし、所属の書き方等、書式は統一性を保つため、こちらで編集する場合があります。フォント、行数等についてもこちらで決定します。
5. 英文のブラッシュアップ、ネイティブ・チェックは大会実行委員会では行いません。各自の責任で行ってください。
6. アラビア語転写などの特殊文字は用いないでください。
7. 書式なし (シンプル・テキスト) のファイルで、E-mail に添付して、大会事務局アドレス (james2011@asafas.kyoto-u.ac.jp) に 2 月 28 日 (月) までにご送付ください。

連絡先

日本中東学会第 27 回年次大会実行委員会事務局  
〒606-8501 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 東長靖研究室  
Tel : 075-753-7383 Fax : 075-753-9641 (共用)  
E-mail : james2011@asafas.kyoto-u.ac.jp  
可能な限りメールでご連絡・お問い合わせいただければ幸いです。

(小杉泰)

## 理事会報告

### 【2010 年度第 2 回理事会報告】

2010年10月30日(土曜) 13時～15時  
早稲田大学(早稲田キャンパス) 9号館9階917号会議室

出席:長沢、青山、赤堀、白杵、大稔、加藤、黒木、小杉、東長、山岸、店田  
欠席:栗田、\*小松、\*桜井、三浦、\*山口(\*委任状)

#### 議題(報告・審議順)

1. 役員選挙について  
(選挙管理委員の指名・選挙日程について承認)
2. 第3回奨励賞選定について  
(選考委員会は、三浦、私市、青山の三氏・推薦用紙を2010年中に評議員に送付)
3. 編集委員会報告  
(編集報告・論文プール制導入については継続審議・論文査読のあり方について審議)
4. 会則・細則について  
(編集委員会内規と会則の齟齬があり、次期総会で報告・英文版の修正を実施)
5. 来年度大会について  
(日程は5月21-22日・セッションの募集方針について審議・海外からの招聘について国際交流基金に補助金を申請することに決定)
6. 本年度公開講演会報告  
(東北大学にて開催・今回は文科省の補助金支出からの懇親会費支出が不可となった)
7. 来年度の公開講演会について  
(山形県酒田市で開催予定・「イスラーム、大川周明、地方」をキーワードとして、日本学術振興会の研究成果公开发表(B)補助金を申請予定)
8. WOCMES 報告  
(聴衆が少なかったことや中東/欧州以外の地域の扱い・会議の質に関する議論)
9. AFMA 報告  
(開催年度は会長国の判断・ウェブサイト管理は、日本側が担当)
10. 韓国中東学会報告  
(会長と理事1名が参加し、青山理事が研究発表)
11. 渉外関係報告  
(地域研究連絡協議会ニューズレター原稿依頼・コンソーシアム総会には私市会員が出席予定・情報学研究所のサービス停止に伴い学会自前のホームページ)

ジ構築が必要となる可能性が出てきたこと)

12. ニューズレター報告  
(122号が編集・今後の課題として電子化の可否)
13. 再来年度の大会開催校について  
(首都圏の大学が望ましいこと・数校を候補として打診)
14. 会員異動報告  
(総会後に20名の新入会員・長期滞納による退会者の再入会について議論)
15. 3月31日付け退会者の扱いについて  
(ニューズレター122号に、一覧として会員名のみを掲載する予定)
16. 学振カイロ研究連絡センター所長の推薦について  
(日本学術振興会から推薦を依頼してきたこと・評議員に推薦者を募るメール送付・本件に関する小委員会ですらに検討し最終案を提出する予定)
17. その他
  - \* 大学評価・学位授与機構の評価委員候補の推薦について  
(6名の会員を推薦・男女各3名ずつ)
  - \* 奨励賞について  
(AJAMESからの奨励賞該当者は1名のみ)
  - \* 会費特例が始まる  
(ニューズレターで対象の該当者によびかける予定)
  - \* 会費徴収方法について  
(郵便貯金口座から自動引き落とし可能・自動引き落としをひきうける会社があることが紹介された)

(店田廣文)

## 『日本中東学会年報 AJAMES』編集委員会報告

『日本中東学会年報 (AJAMES)』編集委員会よりご報告いたします。

### 1. 26-2号刊行のお知らせ

すでにお手元に届いていることと思いますが、26-2号が1月に刊行されました。論文4作、研究ノート2作、書評3作、博士論文要旨5作が掲載されています。会員の方で冊子がお手元に届いていない方がおられましたら、事務局にご一報ください。

## 2. 27-1号編集中

現在、27-1号の編集作業を鋭意進めております。2011年7月の刊行予定です。

## 3. 欧文原稿投稿の呼びかけ

これまでたびたび総会などの場をお借りしてお願いして参りましたが、本誌は欧文雑誌として会員のみなさまの研究成果の普及をめざしております。論文、研究ノート、書評など、各種原稿の欧文による執筆および投稿をお待ちしています。そのほか、英文による特集の企画がありましたら、ぜひご投稿ください。

## 4. 本誌に関するお問い合わせ

本誌に関するお問い合わせ先、原稿投稿先は以下の通りです。

〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1

東京外国語大学総合国際学研究院 青山弘之研究室気付

『日本中東学会年報』編集委員会

ajames-editor@tufs.ac.jp

(青山弘之)

## 第14期役員選挙が進行中です

本学会の現役員（会長、理事、評議員および監事）の任期は、2011年3月31日をもって満了いたしますので、日本中東学会会則および細則にしたがって、第14期（2011～2012年度）役員選挙が昨年12月より実施されております。すでに評議員選挙が終了し、理事選挙の投票も締め切られ、本号ニューズレターの編集作業と並行して、第14期理事の確定作業が行われています。新しい評議員のメンバーと、第14期理事会のメンバーや分掌については、4月発行予定のニューズレター124号にて、お知らせする予定です。（店田廣文）

## 日本中東学会奨励賞の候補作推薦について

第3回日本中東学会奨励賞の候補作の推薦は、来たる2月末日が締切です。評議員の方々のところには、すでに次の文書と推薦用紙が届けられているかと思いますが、お手元がない場合は、電子メールで日本中東学会編集委員会 (ajames-editor@tufs.ac.jp)までご連絡をお願いいたします。前回の選考では、評議員からの推薦作がごくわずかで、このため選考が年次大会までに終了せず、再

度のご推薦をいただく形となりました。ご多用中とは存じますが、ご推薦のほど、よろしく願いもうしあげます。

### 日本中東学会奨励賞の候補作推薦について（抜粋）

第3回日本中東学会奨励賞の選考を行います。本奨励賞は「日本中東学会の若手会員の優れた研究成果の国際的な発信を奨励し、本学会の国際的な交流を促進することを目的とする」（奨励賞規定）もので、2年に一度、1名に授与するものです。

奨励賞の対象は、2009年および2010年の「2年間に『日本中東学会年報』に掲載された外国語による論文」（同4条）となっておりますが、「ただし、他の媒体によって出版された外国語の論文および著書のなかに特に優れたものがある場合には、これを選考対象に加えることができる」（同4条）となっております。「受賞の有資格者は対象となる著作の刊行時において40歳以下の学会員とする」（同5条）となります。

つきましては、選考規定細則第3条「評議員が各一点の候補作を授与年度の2月末までに選考委員会に推薦理由を添えて推薦し、選考委員会はこれを受けて最終選考を行う」にもとづき、評議員の皆様へ、候補作の推薦をお願い申し上げます。

（三浦徹）

### 寄贈図書

#### 【単行本】

鈴木紘司『アラビア語文法解説』日本サウディアラビア協会、2010

人間文化研究機構地域研究推進委員会『人間文化研究機構イスラーム地域研究推進事業実績評価報告書』、2010年

Rawaa Mahmoud Hussain, *Al-Ghazālī, As an annotator of the Holy Qur' an*, Al-Rajaa Publishing House, 2010

*A Provisional Catalogue of Southeast Asian Kitabs of Sophia University*(SIAS Working Paper Series), 上智大学アジア文化研究所・イスラーム研究センター、2010年

#### 【逐次刊行物】

『季刊アラブ』No.135 日本アラブ協会、2010年

『東方学会報』No.99 財団法人東方学会、2010年

『サウジアラムコ季刊誌 dimensions (国際版)』、Saudi Petroleum limited, 2010  
年  
*CISMOR VOICE* : vol.12, 同志社大学一神教学研究センター、2010 年  
*AIIC News* : vol.2, the Asian Institute for Intellectual Collaboration 立教大学,  
2010 年  
*Bulletin of the American Research Center in Egypt : 2008-2009 Annual report*,  
American Research Center in Egypt, 2010  
*Bulletin of the School of Oriental and African Studies*, vol. 73, no.3,  
Cambridge University Press, 2010.  
*Acta Orientalia: Akademiae Scientiarum Hungaricae*, Vol.63 no.1.2 ,  
Akademiai Kiado , 2010

## 会員の異動

【新入会員】

角田 絃美

川畑 亜瑠真

清水 雅子

白谷 望

馬場 多聞

村上 拓哉

Dimitar

Mihailov  
Dimitrov

【2009年度末をもつての退会者】

Jang Daegyul

【物故者】

岩永 博  
小堀 巖  
藤原 和彦

【所属先・連絡先の訂正・変更】

鮎合 真介  
石丸 由美  
柏木 健一  
片岡 麻美  
黒田 安昌  
幸野 堯  
小林 正樹  
小松 香織

座喜 純  
佐原 徹哉  
塩谷 哲史  
夏目 美詠子  
野口 舞子  
原山 隆広  
平松 亜衣子  
福富 満久  
藤木 健二



掘抜 功二  
三沢 伸生  
宮田 律  
森 まり子

森山 央朗

山尾 大

横田 貴之

若桑 遼  
若松 大樹

### 連絡先をご存じないですか

下記の会員の方々は、連絡先が不明なため学会からのお知らせなどをお届けすることができないでおります。これらの会員の連絡先をご存じの方は、学会事務局までご連絡いただけますよう、ご面倒でもご本人にお伝えいただけますでしょうか。

石原 忠佳	岩永 尚子	柏原 弘明	唐鎌 圭彦	岸 真由美
白神 小鈴	杉山 佳子	瀬戸 邦弘	宗野 ふもと	高橋 陽子
高畑 祥子	高堀 英樹	武田 朝子	武田 歩	畑中 美樹
樋口 義彦	日野 恵美	宮本 邦昭	桃井 治郎	安永 真理
山中 啓介	吉田 行香	和賀 えり子		
El-Mostafa Rezrazi	Modjtaba Sadria			

Samy Mohamad Soliman Ahmad

## 訂正とお詫び

前号のニューズレター(no.122)の13ページ、WOCMESの第1パネルの報告文(私市会員投稿)のところに、報告者名と報告タイトルが入るはずだったのが、編集の手違いで掲載できませんでした。お詫びして追加文を次に掲載いたします。

[追加]

なお、報告者と報告タイトルは以下の通りである。

黒田祐我(早稲田大学)「イベリア半島のキリスト教徒が抱いていたムスリム観」

佐藤健太郎(人間文化研究機構・早稲田大学)「Yannayr と Ansara—西方ムスリム世界における季節祭」

私市正年(上智大学)「12-14世紀マグリブ諸都市のウラマー社会におけるアンダルシア人」

司会と総合コメントは、Abdelahad SEBTI氏(ムハンマド5世大学・モロッコ)がつとめた。

[以上]

(山岸智子)

## 事務局より

2011年最初のニューズレターをお届けします。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。京都大学での年次大会に向けて、学会事務局の仕事も、ますます繁忙となることが予想されますが、今後とも、評議員ならびに会員の皆様に、学会活動へのさらなるご協力をお願い申し上げる次第です。

(1) 会費納入口座についてのお願い

本学会では会費前納制を取っておりますが、現在のところ、2011年度会費の納入率は、例年になく低く50%を切っている危機的な状況です。年度末に向けて、速やかな納入を是非ともお願い申し上げます。

なお、納入口座についてお知らせします。現在、三井住友銀行口座、ゆうちょ銀行口座、郵便振替口座の3つを用意しておりますが、このうち事務局による、

ゆうちょ銀行口座への振り込み内容（会員名と振り込み金額、振り込み日）の確認にかなりの時間と手間がかかることが問題となっております。

このため、会員の皆様には、会費納入の際には、三井住友銀行口座または郵便振替口座を、ご利用いただきたく、お願い申し上げます。ゆうちょ銀行口座に振り込まれた場合には、事務局宛に、振り込みを証明できる明細をファクスまたはPDF等で送付いただきたく存じます。お手数をおかけしますが、宜しくご協力ください。

## (2) メーリングリストへの投稿についてのごお願い

学会ホームページのメーリングリスト案内に記載されているとおり、学会メーリングリストへの投稿は、会員が直接、メーリングリスト宛に直接、投稿することになっております。投稿内容がそのまま会員へ配信されますので、事務局へ



の配信願いやなどの前文は、不要です。どうぞ、ご注意ください。また、リマインダは配信しないこととしております。投稿はただちに配信されるのではなく、担当理事によって確認後に配信されます。このため、担当理事の事情により、実際にメールが会員の手元に届くまでに、1～2日ほどかかる場合があります。速やかに配信するように努めますが、投稿は、

時間的余裕を持って行うようお願い申し上げます。

なお、電子メールの一般的な約束事でもありますが、投稿メールには、「転送歓迎」「転送してください」など、チェインメールを誘発するような文言は、記述しないようお願い申し上げます。この点もご注意ください。

(店田廣文)

## 編集後記

前号にひきつづき「訂正とお詫び」をいれなくてはならない事態となりお恥ずかしい限りです。事務局も編集子も、ゲラを落ち着いて読み直す余裕がなくなっている現状をどうかご理解ください。

年初の中東情勢は、あちらもこちらも膠着状態だな…と想像していたらチュニジア政変のニュースがとびこんできました。アメリカのC教授のブログでは1979年以來の民衆革命だとの評価、ちょっと興奮してきました…！本年もよろしくようお願い申し上げます。



(山岸智子)

### 会費納入のお願い

本会は会費前納制をとっております。2011 年度およびそれ以前の会費に未納がある方は、本号のニューズレターに郵便振替払込用紙が同封されておりますのでご利用ください。AJAMES に未送付分がある場合は、2010 年度以前の未納分会費の払込確認後お送りいたします。また、京都大学における年次大会での研究発表や AJAMES への論文投稿を予定されている会員の方は、是非とも会費納入を宜しくお願い申し上げます。請求会費額は 2010 年 12 月末日の振込確認に基づいておりますので、その後に納入され、請求に行き違いが生じた場合にはご寛恕ください。

なお、事務局会計の運営円滑化のため、ゆうちょ銀行口座での納入はお控えくださるようお願いいたします。口座そのものは、存在しておりますが、ご協力のほど、お願い申し上げます（詳しくは、「事務局より」をご覧ください。）

### 日本中東学会ニューズレター 第123号

発行日 2011年2月5日  
発行所 日本中東学会事務局  
印刷所 東洋出版印刷株式会社

### 日本中東学会事務局

〒162-0041  
東京都新宿区早稲田鶴巻町 513 番地  
早稲田大学 120-4 号館 3 階  
早稲田大学イスラーム地域研究機構気付  
日本中東学会事務局  
電話/ファクス：03-5286-1966  
E メール: james@db3.so-net.ne.jp  
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/james/>  
郵便振替口座：00140-0-161096(日本中東学会)  
銀行口座：三井住友銀行渋谷支店(普)5346808  
(日本中東学会 代表 長沢 栄治)